

KOMAKI

第6次小牧市総合計画推進のための

ジュニアまちづくり研究会

- 開催記録 -



平成21年11月

も く じ

	ページ番号
○ ジュニアまちづくり研究会参加者名簿	1
○ はじめに	
ジュニアまちづくり研究会の目的	2
活動内容	2
○ 研究成果	
1班 資源循環型まちづくりプロジェクト	6
2班 自助・公助・共助でつくる安全なまちプロジェクト	9
3班 わがまち美しい小牧づくりプロジェクト	12
4班 文化芸術・スポーツを楽しむプロジェクト① 【スポーツ】	15
5班 文化芸術・スポーツを楽しむプロジェクト② 【文化芸術】	18
○ ジュニアまちづくり研究会発表会	21

ジュニアまちづくり研究会参加者名簿

○ コーディネーター

中部大学 工学部 建築学科 豊田洋一 先生

○ 参加中学生

中学校名	氏名	(ふりがな)	性別	グループ
小牧中学校	丸山 敦広	まるやま あつひろ	男	3
	都築 圭	つづき けい	男	4
応時中学校	中井 将仁	なかい まさと	男	5
	坂口 有貴	さかぐち ゆき	女	1
小牧西中学校	石原 梨江	いしはら りえ	女	4
	船倉 孝雅	ふなくら たかまさ	男	1
	井上 翔太	いのうえ しょうた	男	2
味岡中学校	武田 壮史	たけだ そうし	男	4
	村田 ちひろ	むらた ちひろ	女	2
	倉知 香那子	くらち かなこ	女	4
岩崎中学校	市川 綾希子	いちかわ あきこ	女	3
	松崎 ヌカリ	まつざき ゆかり	女	1
	中里 健二	なかざと けんじ	男	5
篠岡中学校	大西 冴奈	おおにし さえな	女	2
	永井 結奈	ながい ゆうな	女	4
	山田 帆乃香	やまだ ほのか	女	5
桃陵中学校	久保 あずさ	くぼ あずさ	女	5
	戸部 杏捺	とべ あんな	女	1
	井上 望	いのうえ のぞみ	女	3
北里中学校	大野 咲希	おおの さき	女	3
	中村 早希	なかむら さき	女	5
	平 奈央	たいら なお	女	2
光ヶ丘中学校	長尾 美名	ながお みな	女	5
	榊原 晶	さかきばら あき	女	4
	西村 志穂子	にしむら しほこ	女	1
	本村 望実	もとむら のぞみ	女	2
	渡辺 清香	わたなべ さやか	女	3

○ 参加職員

所属課	氏名	(ふりがな)	性別	グループ
廃棄物対策課	船橋 淳	ふなはし あつし	男	1
生活交流課	葛谷 博士	くずや ひろし	男	2
都市整備課	武藤 正寛	むとう まさひろ	男	3
まなび創造館	松浦 衣子	まつうら きぬこ	女	4
生涯学習課	鷺野 みどり	わしの みどり	女	5

はじめに

●ジュニアまちづくり研究会の目的

小牧市の未来を担う中学生の第6次小牧市総合計画の推進への参画機会として、「ジュニアまちづくり研究会」を開催する。

ジュニアまちづくり研究会は、当研究会への参加や発表を通じて、中学生自身のまちづくりへの関心を高めるとともに、世代間交流や参加した中学生以外への意識啓発を促し、中学生に対するまちづくり意識の醸成を図ることを目的とする。

また、各研究テーマに関連する関係各課の若手職員が研究会に参加することで、成果を具体的な事業等に出来る限り反映させることとする。

●活動内容

市内9つの中学校から集まった中学2年生27人と各研究テーマに係る課の若手職員5名が5つの班に分かれて、3回の研究会を開催した。また、各班で個別会の実施、フィールドワークを行い、小牧市のまちづくりについて話し合い、提案をまとめた。

時期	実施内容	詳細
7月11日	第1回ジュニアまちづくり研究会	・オリエンテーション (会の趣旨説明、自己紹介、総合計画の概要学習会) ・グループワーク
7月～8月	グループ会	個別会やメール等を利用して意見交換
8月22日	第2回ジュニアまちづくり研究会	各テーマの事例などの調査・研究し、新たなアイデアの提案、実践できる内容なども含めて成果のとりまとめ
8月～10月	グループ会	個別会やメール等を利用して意見交換
10月24日	発表会準備及びリハーサル	・発表会の準備 ・発表会当日の役割分担を実施
11月8日	発表会	11月8日 あさひホールにて研究発表会

【第1回】平成21年7月11日（土） 午後1時～5時

- ・ 事前アンケートの結果をもとに、興味のあるテーマで5つの班に分かれて調査・研究を行った。
- ・ 各テーマにもとづき、小牧市の問題点を出し合い、課題を整理した。
- ・ 課題を解決するためのアイデアや提案を出し合い、グループで話し合って解決策を整理した。
- ・ 研究成果（問題点・解決策）について全員で発表した。

●場 所 小牧市役所第4・7会議室

- 次 第
1. 開会
 2. あいさつ
 3. 本日の作業スケジュールの説明
 4. 職員の自己紹介
 5. 豊田先生のお話
 6. 簡単なゲーム
 7. グループ別の作業・話し合い
 8. 研究成果の発表
 9. 次回の研究会について
 10. 閉会



●資 料 ジュニアまちづくり研究会実施内容
事前アンケート（各自持参）



【第2回】平成21年8月22日（土） 午後1時～5時

- ・ 班ごとに、前回話し合った内容について、第1回研究会の意見シートを参考にしながら復習や確認を行い、話し合いを深めた。
- ・ 班の検討状況に応じて、研究を行ったり、市内各地において、フィールドワークを実施した。
- ・ 発表会に向けて発表内容の準備を行った。

●場 所 小牧市役所第7会議室及び市内各地

- 次 第
1. 本日の作業スケジュールの説明
 2. グループ別の作業・話し合い
 3. 研究成果の発表
 4. 豊田先生のお話
 5. 今後の予定について
 6. 閉会

●資 料 第2回ジュニアまちづくり研究会実施内容
前回作成した模造紙
第1回ジュニアまちづくり研究会資料
(各自持参)



1班：資源回収ステーションにおいて



2班：グループ発表の風景



3班：小木トラクターミナルにおいて



4班：ウォーキング実施
パークアリーナ～小牧中学校



5班：小牧市東部地区：白山神社において

【第3回】平成21年10月24日（土） 午後1時～5時

- ・ 個別会の内容も踏まえ、前回までのおさらいと、発表会に向けて最終的な内容の確認を実施した。
- ・ 班で発表会の役割分担をし、ナレーションの練習を行った。
- ・ 司会進行も含め、発表会の全体リハーサルを実施した。

●場 所 小牧市役所第7会議室

- 次 第
1. 本日の作業スケジュールの説明
 2. グループ別の作業・話し合い
 3. 発表会リハーサル
 4. 豊田先生のお話
 5. 発表会について
 6. 閉会

●資 料 第1回ジュニアまちづくり研究会実施内容
前回作成した模造紙

【第4回】平成21年11月8日（日） 午後1時30分～3時

◇ジュニアまちづくり研究会発表会

- ・ 7月から調査・研究を行ってきた研究成果について発表を行った。

●場 所 まなび創造館あさひホール

- 次 第
1. あいさつ 小牧市企画部次長 舟橋 毅
 2. 来賓あいさつ 小牧市教育委員会教育長 副島 孝
 3. 概要説明
 4. 基調講演 「まちに向かって暮らす」
中部大学工学部建築学科 教授 豊田 洋一 氏
 5. ジュニアまちづくり研究会発表会
発表テーマ {
 - 1班：資源循環型まちづくり
 - 2班：自助・共助・公助でつくるまちづくり
 - 3班：わがまち美しい小牧づくり
 - 4班：みんなで文化芸術・スポーツを楽しむ【スポーツ】
 - 5班：みんなで文化芸術・スポーツを楽しむ【文化芸術】
 6. 閉会

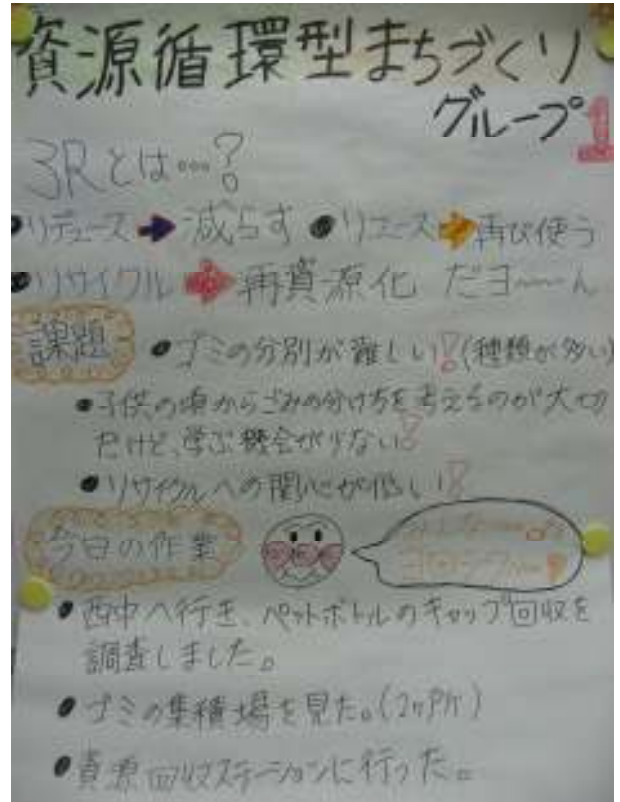
資源循環型まちづくりプロジェクト

メンバー

船倉 孝雅	ふなくら たかまさ	小牧西中学校
西村 志穂子	にしむら しほこ	光ヶ丘中学校
戸部 杏捺	とべ あんな	桃陵中学校
松崎 ユカリ	まつざき ゆかり	岩崎中学校
坂口 夕貴	さかぐち ゆき	応時中学校
船橋 淳	ふなはし あつし	廃棄物対策課



第1回研究会 作成資料



第2回研究会 作成資料

第1回 研究会のまとめ

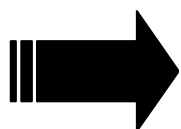
問題点	ポイ捨てが多い	何でも無駄に作る	わりばしを使いすぎ
	ごみ箱が少ない	まだ使えるものを捨てる	リサイクルに出さない人がいる
	ごみを見つけても無視する	ペンをむだに使う（らくがき）	コンビニ等でレジ袋を渡すこと
	ボランティア参加者が少ない	ごみに対して甘い	アメを一個ずつ袋詰めにする
	ごみがあっても気にしない人がいる	バーベキューで紙製品を使う	イベントでプラスチックの皿などを使う
	川に捨てて見つからないようにする人がいる	スーパーの袋を捨ててしまう	マイバッグをたくさん売りすぎで、逆にむだ
	（ごみ拾いは）手がくさくなるから	ごみが出るものを買いすぎる	紙コップを使う
		食べ残しを捨てる	トイレトーパーを使いすぎる



課題	道路・川などいろいろな場所にポイ捨てごみが多い。	売る側（スーパー等）と買う側（市民）の両方ともムダ使いをしている。	ちょっとした工夫でごみを減らせたり、リサイクルできるものがあるのに、していない。
----	--------------------------	-----------------------------------	--



アイデア提案	市にごみ箱を増やす	薬局さんでもエコバッグ	壊れたものは直して使う
	クリーンアップの呼びかけを強化する	マイバッグ（マイ箸）をもっと使う	エコキャップ回収を市でも行う
	学校、地域の人たちでもっとごみ拾いをする	学校で配布するプリント類を、兄弟がいればどちらかにだけ配るようにする	コンビニ袋の有料化
	子供にポイ捨てしてはいけないということを教える		お弁当をマイ弁当
	井戸端会議でごみ拾いをする	マイバッグを常にかばんの中に入れておく	バーベキューの場所で貸出し用の皿、コップを用意する
	エコバッグを毎回使う	マイはしを使う	呼びかけポスターを作る
		PTA総会などのプリントを親が参加するという人にだけ冊子を配る	壊れたものは修理して使う
			3RをもっとPRする



テーマ決定

「3R」に着目し、小学生・中学生が分別方法の学ぶ機会の創出

フィールドワーク【8月22日】



①ペットボトルのキャップ集め in 小牧西中学校

②ペットボトルキャップの数の調査 in 資源回収ステーション

③ごみ集積場調査(若竹公園、第2みどりの里西側)



市に対する提案

① ペットボトルキャップの回収

- ・ ペットボトルが正確に分別され、出される。
- ・ ペットボトルの分別をきっかけにごみの分別の意識づけにつながる



② ごみ集積場立ち当番

- ・ ごみの減量、分別を意識するのはごみ集積場が一番いい。
- ・ 地域との交流につながるとともに、分別の啓発ができる。



2 班

自助・公助・共助でつくる安全なまちプロジェクト

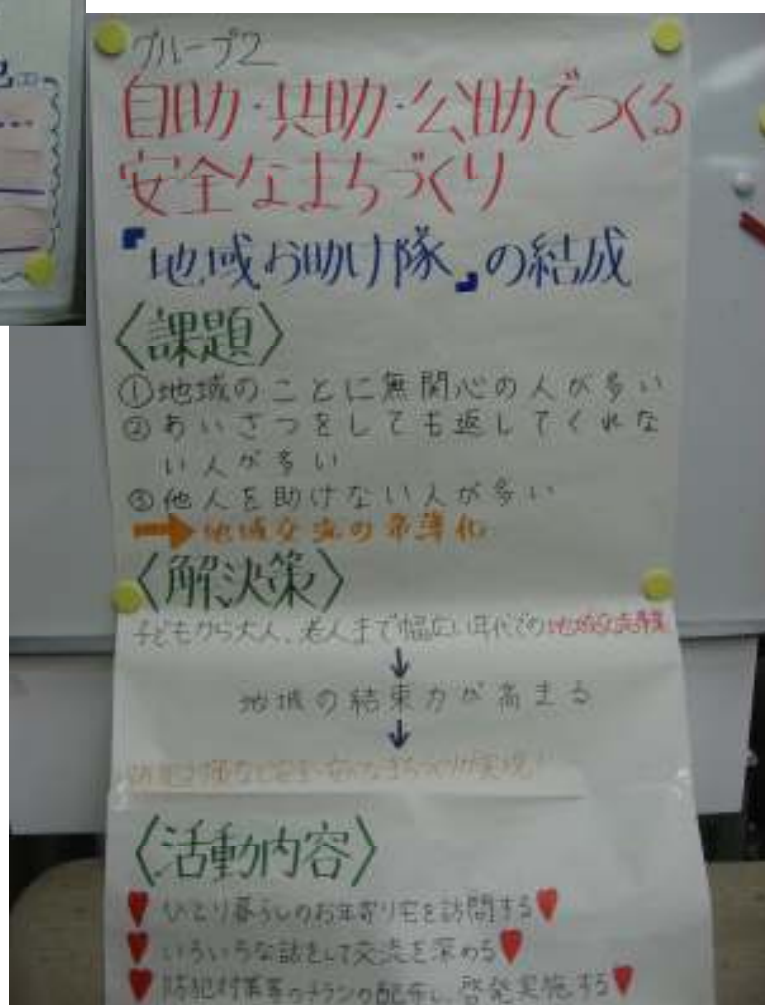
メンバー

井上 翔太	いのうえ しょうた	小牧西中学校
大西 冴奈	おおにし さえな	篠岡中学校
平 奈央	たいら なお	北里中学校
村田 ちひろ	むらた ちひろ	味岡中学校
本村 望実	もとむら のぞみ	光ヶ丘中学校
葛谷 博士	くずや ひろし	生活交流課



第1回研究会 作成資料

第2回研究会 作成資料



第1回 研究会のまとめ

問題点	不審者が良く出る	地域のことに無関心な人が多い。	停留所に停車中のバスが邪魔
	学校が荒らされる	他人を助けられない人が多い	道が狭い
	不良がたまる		路上駐車が多い
	神社等に明かりがないので怖い	あいさつをしても返してくれない人が多い。	信号がない道があって危ない
			交通事故が多い



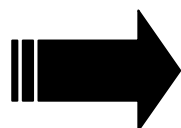
課題	不審者が出そうな、暗い道などが多い。	あいさつをしても返してくれないなど、地域交流の場が少なくなっている。	道が狭く、信号のついていない道が多い。
----	--------------------	------------------------------------	---------------------



アイデア提案	公園や道路などに街灯を増やす。ただし、増やす街灯はLEDなどのエコに配慮したものにする。	自分からあいさつをし、徐々にその輪を広げていく。	バスの乗り降り時、渋滞が多いため、バスの停留スペースを整備する。
--------	--	--------------------------	----------------------------------



テーマ決定



子どもから大人、老人まで幅広い世代で交流する方法

フィールドワーク (8月31日)



① 民生委員さんとの交流

民生委員さんとは・・・お年寄りの自宅を訪問し、声かけなどしている。

② お年寄りとの交流

お年寄りにいろいろなことを質問。防犯チラシや啓発グッズの配布。



市に対する提案

『地域お助け隊』の結成

● 市内全学区に広げて実施していく

自治会の役員さん、民生委員さん、防犯活動ネットワークの方と協力してネットワーク構築

● 『地域お助け隊』に学校ごとにネーミング

例えば・・・

- ◇ 毎月1回下校時に実施
- ◇ 地域のひと暮らしのお年寄りのお宅を訪問
- ◇ 防犯対策などの啓発実施

3班

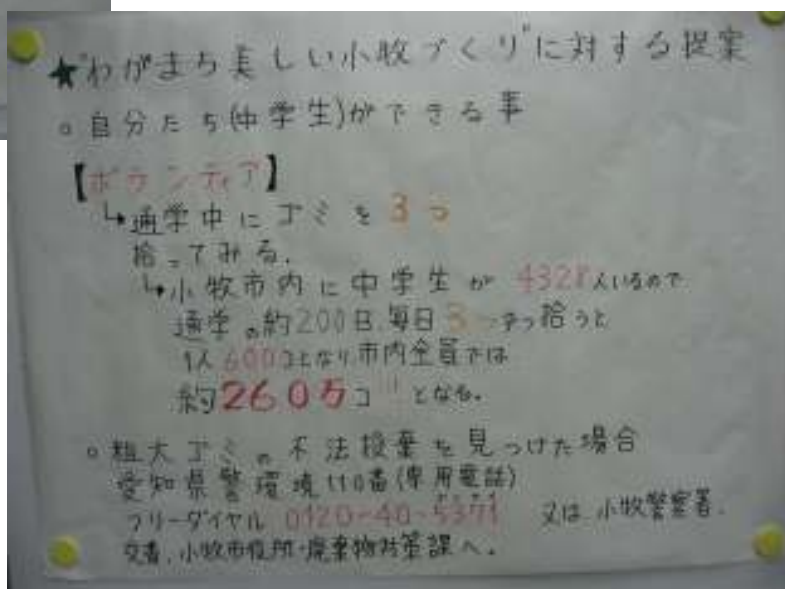
わがまち美しい小牧づくりプロジェクト

メンバー

市川 綾希子	いちかわ あきこ	岩崎中学校
井上 望	いのうえ のぞみ	桃陵中学校
大野 咲希	おおの さき	北里中学校
丸山 敦広	まるやま あつひろ	小牧中学校
渡辺 清香	わたなべ さやか	光ヶ丘中学校
武藤 正寛	むとう まさひろ	都市整備課



第1回研究会 作成資料



第2回研究会 作成資料

第1回 研究会のまとめ

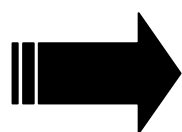
問題点	ごみが散乱している	落書きがひどい	イベントが少ない
	ポイ捨てが多い	建物の老朽化で汚く見える	観光地となる場所が少ない
	ごみなどの処理がきちんとされていない	落書きなど見た目が悪い	祭りの出展が少ない
	公園にごみ箱がない	フェンス・シャッターの落書きが多い	暗い場所が多い
	ポイ捨てで美しいまちとは感じられない		店が潰れたまま放置されている。



課題	ごみが散乱しており、美しいまちとは言えない。	汚い建物や落書きが多く、見た目がよくない。	にぎわいを感じる事（場所も含む）が少ない。
----	------------------------	-----------------------	-----------------------



アイデア提案	小牧市独自のごみ箱を作る	落書きが出来ない特殊塗料を塗る	イベントの宣伝をする
	ボランティアを募集し、1日ごみ拾いを行う	落書き厳禁ポスターを作成する。	イベントの回数を増やす
	ボランティア活動を多くする	防犯カメラを設置する。	出店を充実させる
	ごみ箱を設置する（公園・歩道）	落書きを消す団体をつくる	街灯を増やし、明るくする
	灰皿を設置する（公園・歩道）		空き店舗を利用する。



テーマ決定

「まちの美化(ごみのないキレイなまちづくり)」の推進
について

フィールドワーク [8月22日・9月12日]



①不法投棄多発地帯 ～小牧市勤労センター付近～

②ごみ散乱防止重点地域 ～小木トラックターミナル付近～

③環境美化活動 ～国道155号線沿線～



私たちは実践します

通学中、1人1日3個ごみを拾います

通学日数 約200日 \Rightarrow 約200日×3個=600個/年

市内中学生 4,328人 \Rightarrow 600個/年×4,328人

=約260万個

クリーンアップ活動などの定期的なごみ拾い

+

私たちの日常的な活動

\Rightarrow まち全体で美化の推進、啓発を実施していく。

市に対する提案

私たちでは処理できないごみがあったら

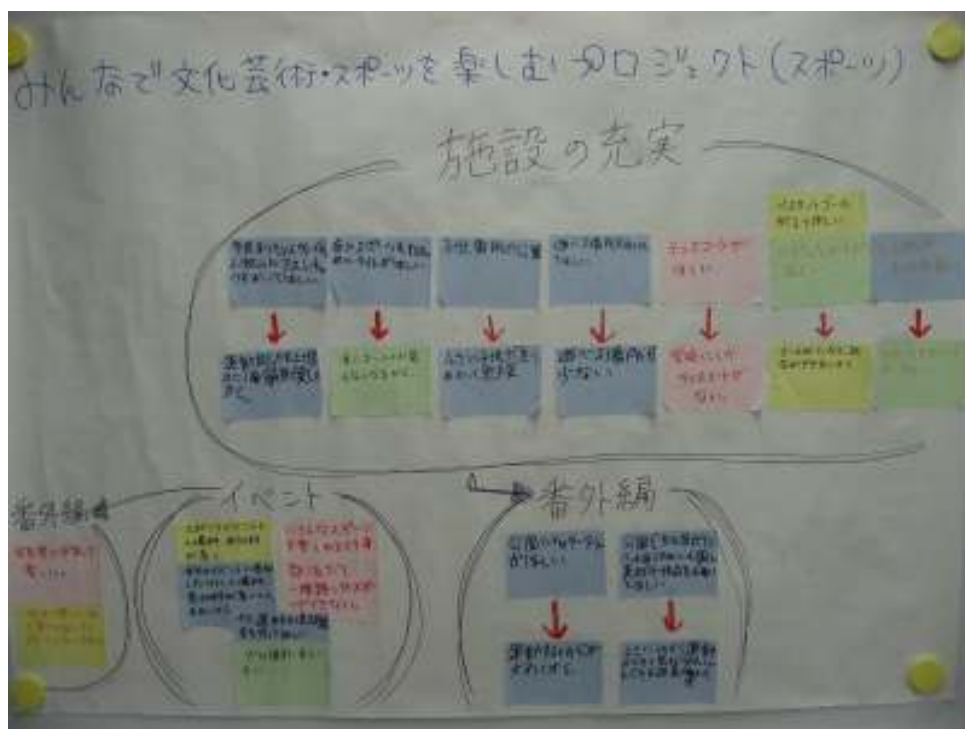
\Rightarrow 市役所、廃棄物対策課に通報します。

私たちの情報をパトロールに活かしてください。

文化芸術・スポーツを楽しむ プロジェクト ① 【スポーツ】

メンバー

石原 梨江	いしはら りえ	小牧西中学校
倉知 香那子	くらち かなこ	味岡中学校
榊原 晶	さかきばら あき	光ヶ丘中学校
武田 壮史	たけだ そうし	味岡中学校
都築 圭	つづき けい	小牧中学校
永井 結奈	ながい ゆうな	篠岡中学校
松浦 衣子	まつうら きぬこ	まなび創造館



第1回研究会 作成資料

第1回 研究会のまとめ

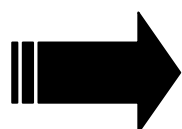
問題点	アスレチック遊具がない	イベントの入場料が高い
	夜にスポーツをする場所がない（照明設備）	部活だけだと1つの種目しかできない
	小さい子がいると公園等で思い切り遊べない	プロスポーツ選手と触れ合う機会が少ない。
	バスケットゴール（オールコート）、テニス、サッカー、フットサルなどスポーツをやる場所が少ない	
	公園にウォータークーラーが欲しい	地元でイベントと市の祭りを一緒の日にしないでほしい
	公園等で文化芸術に触れ合えるようにしてほしい	



課題	スポーツを楽しめる機会・施設が少ない	スポーツを好きになる機会（プロ選手との交流・多種目のスポーツの体験）が少ない。
----	--------------------	---



アイデア提案	楽しみながら、運動能力を伸ばす施設（アスレチック等）を整備してほしい。	イベント開催時の入場料を学生割り等を設けるなど、安くしてほしい。
	子ども専用公園を整備してほしい	
	夜間でもスポーツを楽しめるように照明設備の整備してほしい	部活以外のスポーツができる機会をつくってほしい
	学校以外で、スポーツができるようにしてほしい。	



テーマ決定

子どもからお年寄りまで、男女問わず、皆が参加できるようなスポーツ、「ウォーキング」の推進について

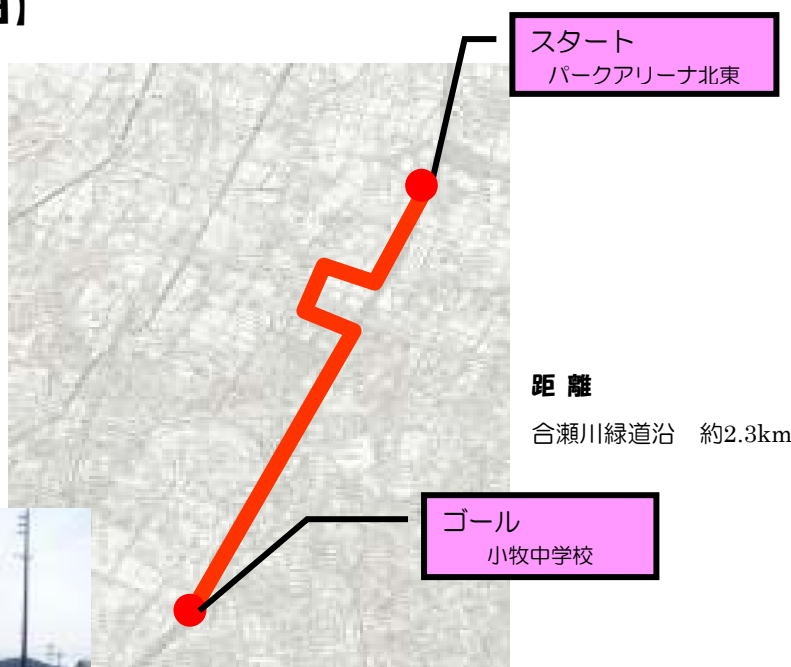
フィールドワーク【8月22日】

ウォーキング実施

ウォーキング = 健康によいスポーツ



実際に長い距離を歩いたことがないので、実際に実践した。



市に対する提案

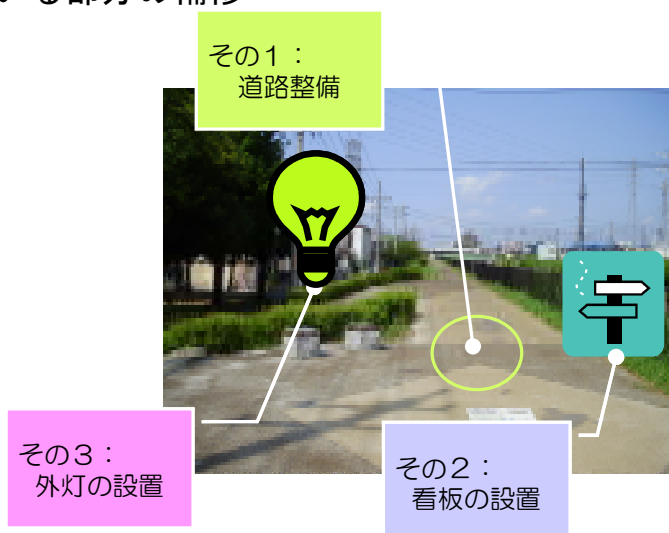
① ウォーキングをする環境づくり

- ・ウォーキングを広めるための啓発
- ・道路整備 例) 道路舗装のはがれている部分の補修

② 看板の設置

- ・距離等を示す目印の設置
- ・トイレの位置を示す案内看板

③ 街灯の設置



5 班

文化芸術・スポーツを楽しむ プロジェクト ② 【文化芸術】

メンバー

久保 あずさ	くぼ あずさ	桃陵中学校
中井 将仁	なかい まさと	応時中学校
長尾 美名	ながお みな	光ヶ丘中学校
中里 健二	なかさと けんじ	岩崎中学校
中村 早希	なかむら さき	北里中学校
山田 帆乃香	やまだ ほのか	篠岡中学校
鷺野 みどり	わしの みどり	生涯学習課



第1回研究会 作成資料

第2回研究会 作成資料



第1回 研究会のまとめ

	メナード美術館	パークアリーナ	イベント
問題点	近寄り難い（大人向けの印象が強い）	行きづらい	小さい子が参加できるイベントが少ない
	絵を見る機会がない	もっと親しみやすく、気軽に行けるようにしてほしい	男子が参加しづらい（興味を持てるイベントがないため）
	入館料が高い		イベント開催日の設定が悪い（部活等と重なる）



課題	美術作品に触れ合える機会が少なく、メナード美術に限られる	パークアリーナは行きづらい	みんなが参加しやすいイベントが少ない。
----	------------------------------	---------------	---------------------



アイデア提案	タッチパネルを設置する	パークアリーナで開催する大会等を増やす	男子でも興味を持てる体験型イベントをつくる（フィールドワークなど）
	ポスターなどに写真を付け加える		
	題名や広告などやわらかい表現にする。		小牧山など自然を生かしたイベントをする
	彫刻などを充実される		
	ちびっ子画家選手権を開く		
	入場料を無料にする		

	まつり	ジュニア育成等	市民ミュージカル
問題点	祭りがしょぼい	科目が少ない	大人が行くイメージがあり、子どもが行きづらい
	盛り上がるイベントをつくってほしい	作った作品を展示する場所がない ジュニア育成が特定のスポーツに限られている。	初めての人が入りづらい雰囲気である

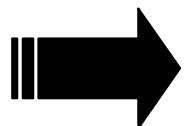


課題	夏祭り・市民祭りなどのイベントが盛りあがらない。	ジュニア育成・ジュニア育成を発展させる必要がある。	市民ミュージカル初めての人が参加しづらい雰囲気がある。
----	--------------------------	---------------------------	-----------------------------



アイデア提案	姉妹都市に限らず、民族や外国独自の文化などを取り入れる	作品をまなび創造館に展示し、大々的にPRする	内容を子ども向けにする
	もっといろんな国と交流する	大人との交流試合をする 全部活にジュニア育成をつくる	初めての人でも安心できる環境にする 市民ミュージカルに力を入れる

テーマ決定



市の特色が活かされ、市民が親しみをもって参加できる
事業の創出について

フィールドワーク【8月22日】

小牧市東部地区の名所巡り

- 白山神社
- 四季の道
- 兒の森
- モトノ家の家



市に対する提案

『仰天！穴場スポットツアー』の開催

『仰天！穴場スポットツアー』とは・・・

- 四季の森を出発点とし、東部の文化施設を自転車で巡るツアー
- 施設を巡りながら、指令や謎解きをする
- 夜は四季の森でバーベキューを行う。



楽しみながら文化や芸術を知る

イベントの企画・開催

ジュニアまちづくり研究会発表会

◇ 日時 平成21年11月8日(日) 午後1時30分 開演

◇ 場所 まなび創造館 あさひホール



- 司 会 岩崎中学校 市川 綾希子 桃陵中学校 井上 望
 応時中学校 坂口 夕貴 応時中学校 中井 将仁
- 概要説明 北里中学校 平 奈央 味岡中学校 武田 壮史
- 基調講演 講演テーマ「まちに向かって暮らす」
 講師:豊田 洋一氏
 (中部大学工学部建築学科教授・当研究会コーディネータ)



□ 発表会

1班:資源循環型まちづくりプロジェクト

応時中学校 坂口 夕貴 桃陵中学校 戸部 杏捺
 小牧西中学校 船倉 考雅 岩崎中学校 松崎 ユカリ
 光ヶ丘中学校 西村 志穂子
 市役所廃棄物対策課 船橋 淳



2班:自助・共助・公助でつくり安全なまちプロジェクト

小牧西中学校 井上 翔太 篠岡中学校 大西 冴奈
 北里中学校 平 奈央 味岡中学校 村田 ちひろ
 光ヶ丘中学校 本村 望実
 市役所生活交流課 葛谷 博士



3班:わがまち美しい小牧づくりプロジェクト

岩崎中学校 市川 綾希子 桃陵中学校 井上 望
 北里中学校 大野 咲希 小牧中学校 丸山 敦広
 光ヶ丘中学校 渡辺 清香
 市役所都市整備課 武藤 正寛



4班:みんなで文化芸術・スポーツを楽しむプロジェクト(スポーツ)

小牧西中学校 石原 梨江 味岡中学校 倉知 香那子
 味岡中学校 武田 壮史 小牧中学校 都築 圭
 篠岡中学校 永井 結奈 光ヶ丘中学校 榊原 晶
 市役所まなび創造館 松浦 衣子



5班:みんなで文化芸術・スポーツを楽しむプロジェクト(文化芸術)

桃陵中学校 久保 あずさ 応時中学校 中井 将仁
 光ヶ丘中学校 長尾 美名 岩崎中学校 中里 健二
 北里中学校 中村 早希 篠岡中学校 山田 帆乃香
 市役所生涯学習課 鷺野 みどり







第6次小牧市総合計画推進のための ジュニアまちづくり研究会

- 開催記録 -

平成21年11月

小牧市役所 企画部 企画課 企画経営係

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内一丁目1番地

TEL (0568)76-1105(直通) FAX(0568)75-5714

E-mail kikakuka@city.komaki.lg.jp